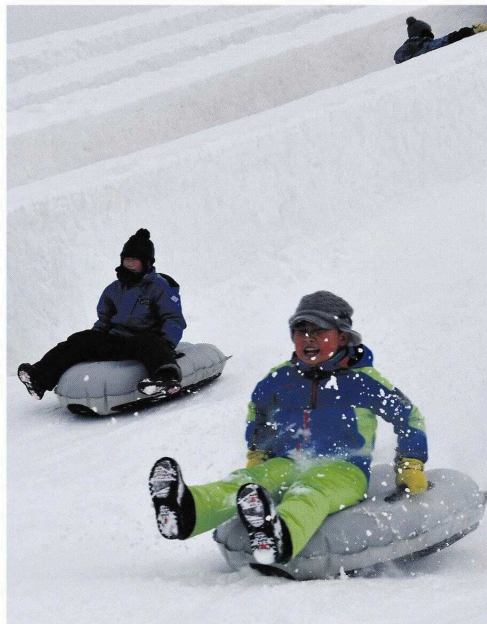


雪像で遊ぶ子どもたち。2日、かみふらの雪まつり



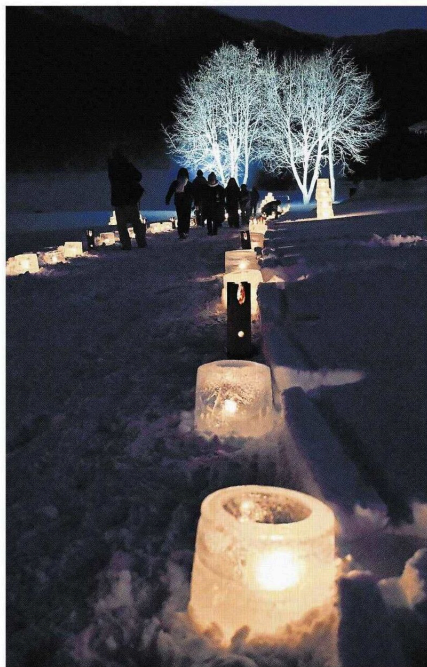
冬を楽しむイベントが1、2日に富良野地域の3市町でそれぞれ開かれた。厳しい寒さの中、各会場に多くの人が訪れ、雪の滑り台などで遊ぶ子どもらの歓声が響いた。



雪の大型滑り台をチューブで滑る子どもたち。2日、かみふらの雪まつり

滑って走って 白銀に歓声

富良野地域3市町 冬の催し



幻想的な光に包まれた「かなやま湖アイスクャンドルナイト」会場=1日

富良野市では1、2の両日「ふらの bonchi powder (ボンチパウダー) フェスティバル2025」が富良野スキー場の特設会場で開かれた。人を乗せたラフティングボートを引いて競走する「人馬入世界選手権」に市内外の7チームが参加。雪に足をどられながら懸命にボートを引っ張った。



ラフティングボートを引く「人馬入世界選手権」の参加者=2日、「ふらの bonchi powder フェスティバル2025」

滑り台人気

上富良野町の日の出公園で2日に開かれた「かみふらの雪まつり」では、雪の大型滑り台が人気を集めた。子どもたちが雪にまみれながら、何度も繰り返し滑った。

力いっぱい

果、市内の野球少年団「球友ライナース」が初優勝。ボートを引いたコーチの松崎翔太さん(35)は「野球の試合も全部勝てるように頑張りたい」と喜んだ。

湖畔彩る炎

南富良野町のかなやま湖畔キャンプ場では1日、アイスクャンドル約250基が幻想的な光で彩る「かなやま湖アイスクャンドルナイト」が開催。辺りが暗くなった午後6時には花火が大造

打ち上げられ、歓声が上がった。会場では、南富良野高ボランテア同好会の3人が温かい飲み物や地元の特産品を販売。1年の阿部悠翔さん(16)は「人が多く来ている印象。甘酒やココアが特に人気でした」と話した。

富良野地域では8、9日も白冠村、中富良野町、富良野市山部地区で冬のイベントが開かれる。(川上舞、千葉佳奈、立木大造)